



## 子どもの成長を促す大人の働きかけ

校長 原 浩一郎

今年も残すところ、あと数日となりました。保護者、地域の皆様には、本校教育にご理解とご協力を賜り、ありがとうございました。新しい年も、これまで同様、よろしくお願い申し上げます。

私が本校に赴任して9か月が過ぎました。子どもたちと学校生活を送る中でも感心していることは、私が「いい挨拶だね」「落ち着いて廊下を歩いているね」などと褒めると、「ありがとうございます」と返す子どもが何人もいることです。これには理由があって、本校の教員が「人から褒められたら気持ちがいいね。その時に『ありがとうございます』と言うと、相手も気持ちがよくなるよ」と子どもたちに言葉かけをしているのです。

子どもの成長を促すためには、大人の働きかけが必要です。人間関係を良好にする関わり方についても、大人が教えることで身に付けていくことがあります。

例えば、私が「おはようございます」と挨拶をしても、よそを向いたまま「おはようございます」と言う子どもがいます。誰もいい気持ちにはならないでしょう。このような子どもに「顔を合わせて挨拶しましょう」と言うと、「ああそうか」というように、はっとしてこちらを向き、「おはようございます」と挨拶をしてくれます。この子どもの反応からも、望ましい関わり方を教えることが大切だということが分かります。

なお、本校では、1学期に「言葉に関するアンケート」を行い、言われて「嬉しかった言葉」「嫌だった言葉」などを挙げさせました。その上で、2学期に「言葉に関する人権学習」を行い、子どもたちが普段使っている言葉を振り返り、どのような言葉を使うと相手の気持ちがよくなるのかなどについて考える授業を行っています。

新しい年を迎えると、いよいよ3学期が始まります。6年生はあと2か月余りで中学生。1年生から5年生は次の学年。3学期は、学習だけでなく、友達など他者との関わり方についても振り返り、実態に応じた働きかけを行います。そして、子どもたちが、新しいステージに自信や課題をもって向かうことができるよう取り組んでまいります。